

2022 年 7 月 25 日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

企業向けメタバース開発環境の簡易導入パッケージを提供開始
NVIDIA Omniverse™ Enterprise を活用して、企業が利用する仮想空間を短期間で実現

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:柘植 一郎、本社:東京都港区、略称:CTC)は、NVIDIA 社の 3D デジタルコンテンツ制作におけるリアルタイム・コラボレーションおよびデジタルツインのシミュレーションのための開発プラットフォーム「NVIDIA Omniverse™ Enterprise」(以下:Omniverse)を活用したメタバースの開発環境の簡易導入パッケージ「Omniverse Starter パッケージ」を本日から提供します。ハードウェアや Omniverse の活用プランニングなどをパッケージ化して、企業におけるメタバースの構築や利用を短期間で可能にするもので、価格は 260 万円(税抜き)からです。デジタルツインや VR などの技術を通して、業務プロセスの最適化を図る製造業や建築業のお客様を中心に展開し、Omniverse 関連ビジネスで、3 年間で 10 億円の売上を目指します。

近年、5G や IoT の進展により、工場や製造ラインなどを仮想空間(メタバース)に再現するデジタルツイン技術に注目が集まっています。生産計画や製造ラインの変更などを仮想空間で実施することで、検証や試行を容易に行うことができ、製造プロセス全体の最適化につながります。しかし、システムの導入には、ハードウェアを含めた設計や構築など、一定の期間が必要になります。

CTC は、仮想空間を複数のユーザーが共同で開発するための NVIDIA 社のプラットフォーム Omniverse の取り扱いを既に開始しており、今回、14 名まで同時に使用できる Omniverse ライセンス、活用のためのプランニングサービスに、デル・テクノロジーズ社のハードウェアを加え、簡易導入のパッケージをメニュー化しました。Omniverse の利用環境の導入から運用までを総合的に支援するものです。

活用のプランニングサービスでは、Omniverse の機能や活用事例を紹介し、お客様が仮想空間で実現したいテーマを創出するワークショップを実施します。ワークショップの結果に応じて、NVIDIA 社の GPU を搭載したデル・テクノロジーズ社の 3 つのモデルからお客様の用途に合わせた最適な選択ができ、早期の仮想空間の構築が実現できます。Omniverse は、光の反射や屈折、影などを精密に表現して、実写に近い仮想空間を制作できるため、同時に大量の計算が可能な NVIDIA 社の GPU と親和性が高いことも特徴です。

導入後は、仮想空間や 3D データに関する専門知識を持つ CTC のエンジニアが、お客様の 3D データの活用を支援するサービスもオプションで提供します。

CTC は、CAD や VR などの 3D 画像ソリューションの提供や、Omniverse を始めとする NVIDIA 社の製品の取り扱いで得たノウハウを活かして、本パッケージを開発しました。また、デル・テクノロジーズ社のパートナープログラムでは最高位の Titanium Black パートナーです。

今後は、Omniverse とリモート環境のソリューションを組み合わせ、リモートユーザーの環境を含めたメニュー化も視野に入れ、お客様の更なる DX に貢献していきます。

＜Omniverse Starter パッケージ参考価格＞

モデル名	参考ハードウェア	参考標準価格 ※1
据置型デスクトップ PC モデル	Dell Precision 3660 GPU:NVIDIA RTX A5500 を搭載	¥2,600,000
可搬型ノート PC モデル	Dell Precision 7670 GPU:NVIDIA RTX A4500 を搭載	¥3,000,000
据置型デスクトップ PC (VR 対応) モデル	Dell Precision 7920 GPU:NVIDIA RTX A6000 を 2 基搭載	¥5,300,000

※1 オプション費用は含まず。

※記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

＜報道機関からのお問い合わせ先＞

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

E-mail:press@ctc-g.co.jp